

安足地域水稲技術情報 No.3

令和4(2022)年7月14日
安足農業振興事務所

作業の重要ポイント

- ① 浅水管理で茎数を確保しましょう！
- ② 早めに間断かん水に切り替えましょう！

1 今後の気象

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	関東甲信地方	向こう1か月 07/16~08/15	20 30 50
		1週目 07/16~07/22	20 30 50
		2週目 07/23~07/29	20 50 30
		3~4週目 07/30~08/12	20 30 50
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 07/16~08/15	30 30 40
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 07/16~08/15	40 30 30

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

気象庁の1ヶ月予報(7月14日発表)によると、向こう1ヶ月の平均気温は高い、降水量は多い、日照時間は少ないという予想が出されています。

2 水稲生育診断ほ場(佐野市石塚町)の生育調査結果(参考)

表 水稲生育診断ほの生育調査結果

品種：とちぎの星	7月6日調査
移植日：6月16日	
草丈(cm)	28.5
茎数(本/m ²)	219
葉齢	7.2
葉色(葉色板)	3.6



写真 水稲生育診断ほ場の様子

3 これからの作業のポイント

(1) 浅水管理で茎数確保を！

苗の老化による活着の遅れなどの影響により、茎数の少ないほ場が見受けられます。

田面が露出しない程度の浅水とし、夜間あるいは早朝に入水・昼間は止水で田水温が高くなるよう努め、分けつの発生を促しましょう。

(2) 早めの間断かん水で、稲の根に酸素と水を供給！

わらをすき込みしたほ場では、気温の上昇に伴ってガスが発生し、稲の根腐れや生育停滞を引き起こします。

移植後 25 日頃から間断かん水（図）に切り替えてガス抜きを行いましょう。

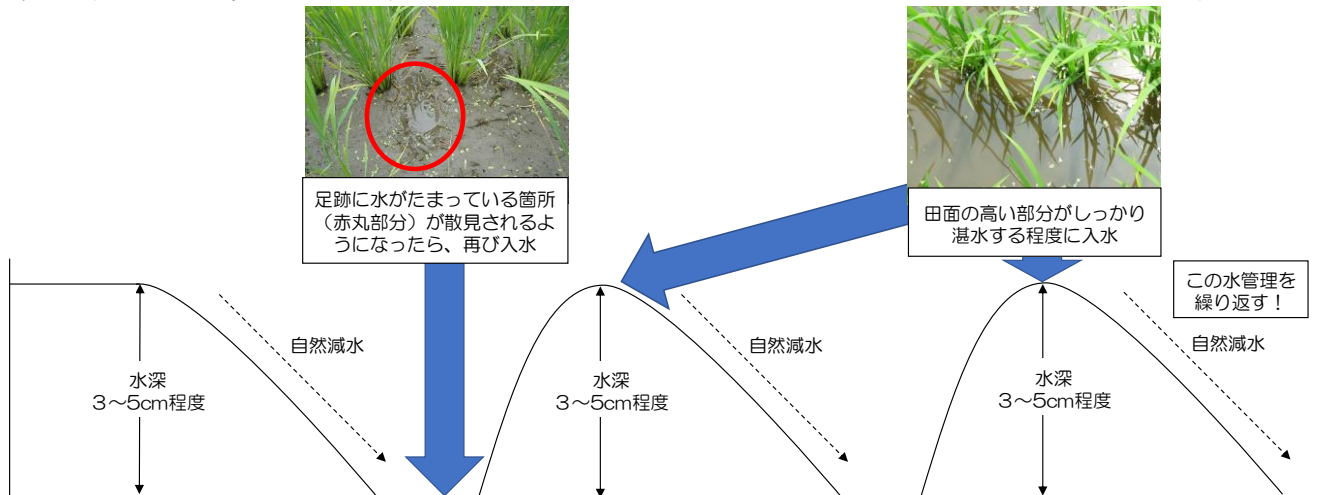


図 間断かん水のイメージ

(3) 取り置き苗は今すぐ撤去！

水田に放置された取り置き苗は、いもち病の発生源になります。早急に撤去しましょう。



放っておいたら、いもち病の発生源になります。今すぐ撤去しましょう！

7月～8月は「農作業中の熱中症による死亡事故」が集中します。

夏の農作業で、以下のことに気をつけましょう。

- ・日中の気温の高い時間帯の作業は控えましょう。
- ・こまめな休息、水分補給を行いましょう。
- ・体調不良の症状がみられたら、すぐに作業を中断しまししょう。



問い合わせ先

安定農業振興事務所 経営普及部 農畜産課 0283-23-1431
ホームページ <https://www.pref.tochigi.lg.jp/g58/index.html>